

能
當
麻
味方玄

THEATRE NOH

第四十二回テアトル・ノウ東京公演
令和三年
八月十二日(木)午後二時始
宝生能楽堂

舞囃子 女郎花 片山九郎右衛門
狂言 呂 蓮 野村万作

令和三年八月十二日(木)午後二時始(午後一時開場)
於 宝生能楽堂

第四十二回 テアトル・ノウ 東京公演

舞囃子

女郎花

片山九郎右衛門

大鼓 亀井 広忠
小鼓 成田 奏
笛 竹市 学

狂言

呂 蓮

僧 野村 万作

妻 野村 太一郎
宿主 中村 修一
後見 月崎 晴夫

能

化女 谷本 健吾

中將姫 味方 玄

當 麻

旅僧 宝生 欣哉

大鼓 亀井 忠雄 太鼓 前川 光長
小鼓 飯田 清一 笛 竹市 学
從僧 大日方 寛
從僧 御厨 誠吾

間 門前の男 石田 幸雄

後見 味方 團
清水 寛二

小早川 泰輝 角当 直隆
武田 祥照 観世 喜正
安藤 貴康 片山九郎右衛門
観世 淳夫 分林 道治

終了予定午後五時頃

本年五月二十二日開催予定のテアトル・ノウ東京公演は東京都の緊急事態宣言延長により延期をさせていただきました。たいへんご迷惑をおかけいたしました。チケットを追加販売いたします。また、既にお手持ちのチケットはそのままお使いいただけます。

ごあいさつ

「室町時代といふ、現世の無常と信仰の永遠とを聊かも疑わなかつたあの健全な時代を史家は亂世と呼んで安心している」小林秀雄は「當麻」というエッセイに書いています。能「當麻」を観て世阿弥のいう「花」の観念にも触れるのですが、この「現世の無常と信仰の永遠」に作者世阿弥が能「當麻」を書いた意図、本質が言い尽くされているように思います。

初めて「當麻」のツレを勤める時「なにか祈りの気持ち、心がね、どこかにないかね」と申し合わせの後、先代鏡之丞先生から教えを受けました。その一言ですべてが腑に落ちた感覚。そして幽雪先生のツレの時は、橋がかりを先に歩み、一の松で幕の方へ振り返った瞬間、そこに阿弥陀如来の化身が目の当たりにほの暗く見えました。まさに「生身の阿弥陀」を見た不思議。連吟し同じ舞台上に居ながらその何とも言えぬ感覚。これらの経験ベースに、充分に勉強し稽古を重ね、理屈、技巧に流れず勤めたいと思います。

「二心に信ずる祈り」から現出する浄土曼陀羅のパノラマを見せ、称賛浄土経の大唱和のなか歌舞の菩薩に再誕した中將姫は妙なる舞を見せるのです。

『當麻』

たえま

天平の頃、横佩の右大臣、藤原豊成の娘・中將姫は世を傳んで二上山の麓、當麻寺に参籠。生身の阿弥陀如来にまみえんと、日々一心不乱に「称賛浄土経」を誦していました。ある夏の静かな夜、姫の元に忽然と一人の老尼が現れます。老尼は阿弥陀に会いたいのであれば、蓮の糸を集めるよう告げます。姫は言われるままに、河内と大和から蓮を集め糸を取り、寺の池で清めると五色に染めて桜の木に懸けて干しました。そしてこの糸で瞬く間に一丈五尺の曼陀羅を織り上げたのです。実はこの老尼こそ阿弥陀如来の化身であつたのだと知った、中將姫は願いが成就したことを喜び、阿弥陀の来迎に感涙するのです。このとき織り上げられた、曼陀羅は當麻曼陀羅として人々に信仰されています。

あるとき、熊野参籠を終えた念仏行者の一行が當麻寺を訪れました。一行が浄土欣求の称名念仏をしていると、そこへ、年老いた尼僧が若い女を伴って現れ、阿弥陀信仰の功德を説きます。曼陀羅ゆかりの染殿の井や極楽の七宝宝樹を思わせる様の謂れを語りつつ、ひたすらに念仏する尼僧。やがて中將姫の阿弥陀示現の縁起を語ると、彼岸の法事にここへ来たのだと言います。そして僧に自らこそ夢中に現じた阿弥陀如来であると明かし紫雲に乗って二上山へと消えて行きました。

曼陀羅堂に日参に来た、門前の男から當麻寺の縁起を詳しく聞いた僧は奇特を願ってそこに留まることにします。するとその夜、僧の夢に奇瑞を示す妙音とともに、歌舞の菩薩が姿を現しました。それは中將姫の精魂。いまは浄土の菩薩となり悟りの境地にいる姫は浄土を賛美し阿弥陀を称えて舞います。こうして僧は、称名念仏の中で、夢の裡に夜明けを迎えるのです。

みかた しずか
味方 玄

観世流能役者



一九六六年京都生まれ。幼少より父・味方健の手ほどきを受ける。片山幽雪(九世九郎右衛門)・当代片山九郎右衛門に師事。二〇〇一年「京都市芸術新人賞」受賞。二〇〇二年KBS京都テレビにて能楽入門番組「能三昧」(全二十八回)を監修、出演する。二〇〇三年新作能「待月」の脚本を手がけシテを演じる。二〇〇四年「京都府文化賞奨励賞」受賞。二〇〇六年淡交社より「能へのいざない」を出版。二〇一一年、重要無形文化財(総合)認定。



テアトル・ノウ主宰

味方 玄

お客様へのお願い

新型コロナウイルス感染症予防対策として、入場時の検温、手指消毒、マスク着用のご協力をお願い申し上げます。

発熱、咳などの風邪症状、倦怠感など体調が優れない場合はご来館前に医療機関にご相談願います。

出演者の変更の場合はご了承ください。

チケット発売中

正面…9,000円

脇正面・中正面席…8,000円

チケット発売時に入場制限の規制がある場合、または入場制限が予想される場合は、それに従って販売、開催いたします。

テアトル・ノウ事務局 TEL&FAX 075-213-1774

ホームページからもお申込みいただけます

<https://theatrenoh.com/>

チラシ使用写真

表面:牧直視「蓮葉」

裏面:「當麻」味方健

撮影/原田七寛

